



DIOR

COLORING BOOK

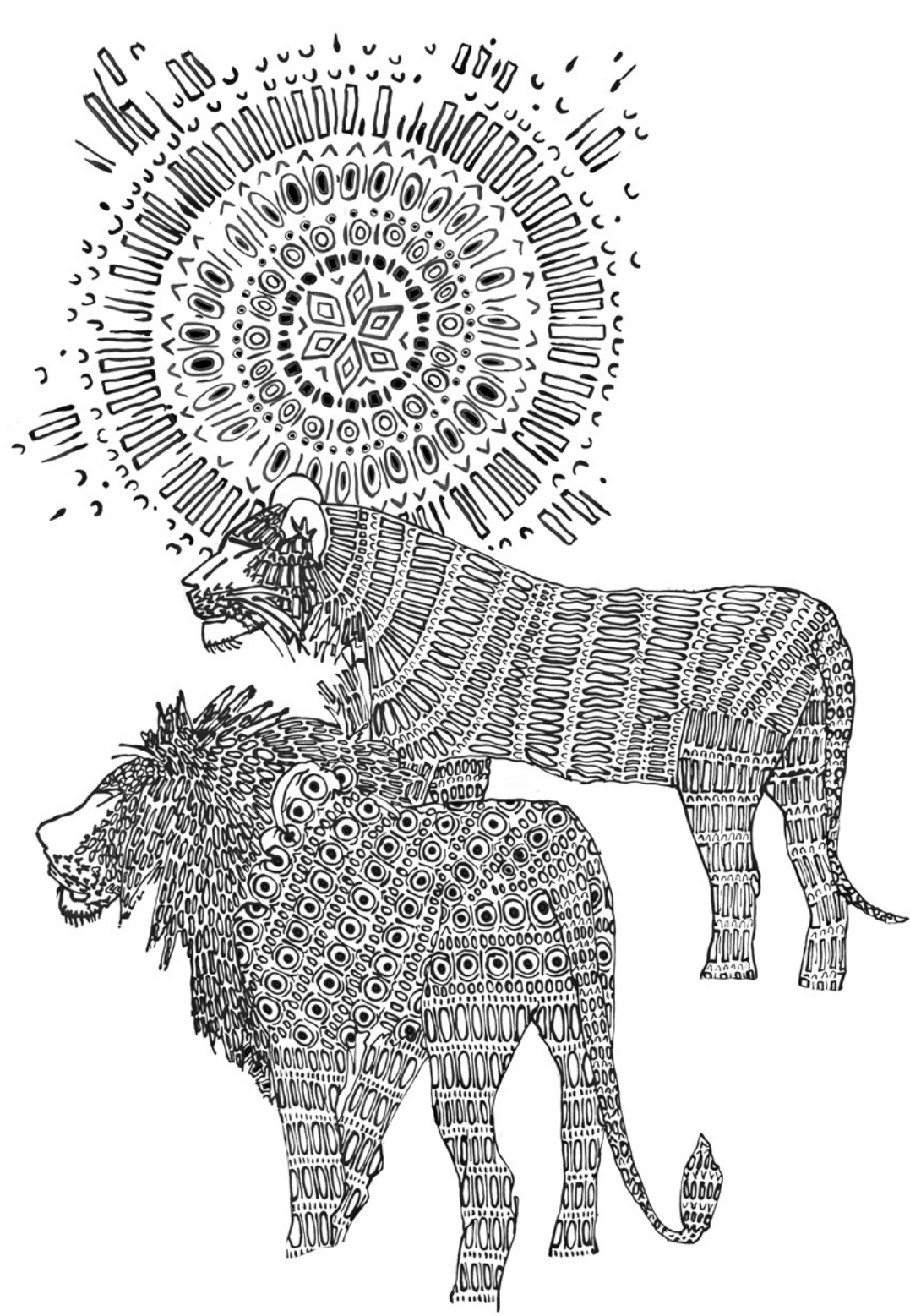
ディオールがお届けする「A COLORING BOOK」。
ささやかな息抜きに、ぬり絵で遊びながら空想の
世界を旅してみませんか？

空想にふけったり、インスパイアされたり、創造したり、彩色したり……空想への旅は、メゾン発祥の地であるモンテーニュ通り30番地からスタートします。ページを繰りながら、野生動物たちが住む熱帯のジャングルという空想の世界を探検しましょう。生い茂る熱帯植物のなかに野生動物がひそむジャングルは、マリア・グラツィア・キウリによる2020 クルーズ コレクションで用いられた“トフル ドゥ ジュイ”のパターンから大胆に再解釈されたもの。1947年にオープンしたメゾン初のブティックにも採用されたアイコンのひとつです。

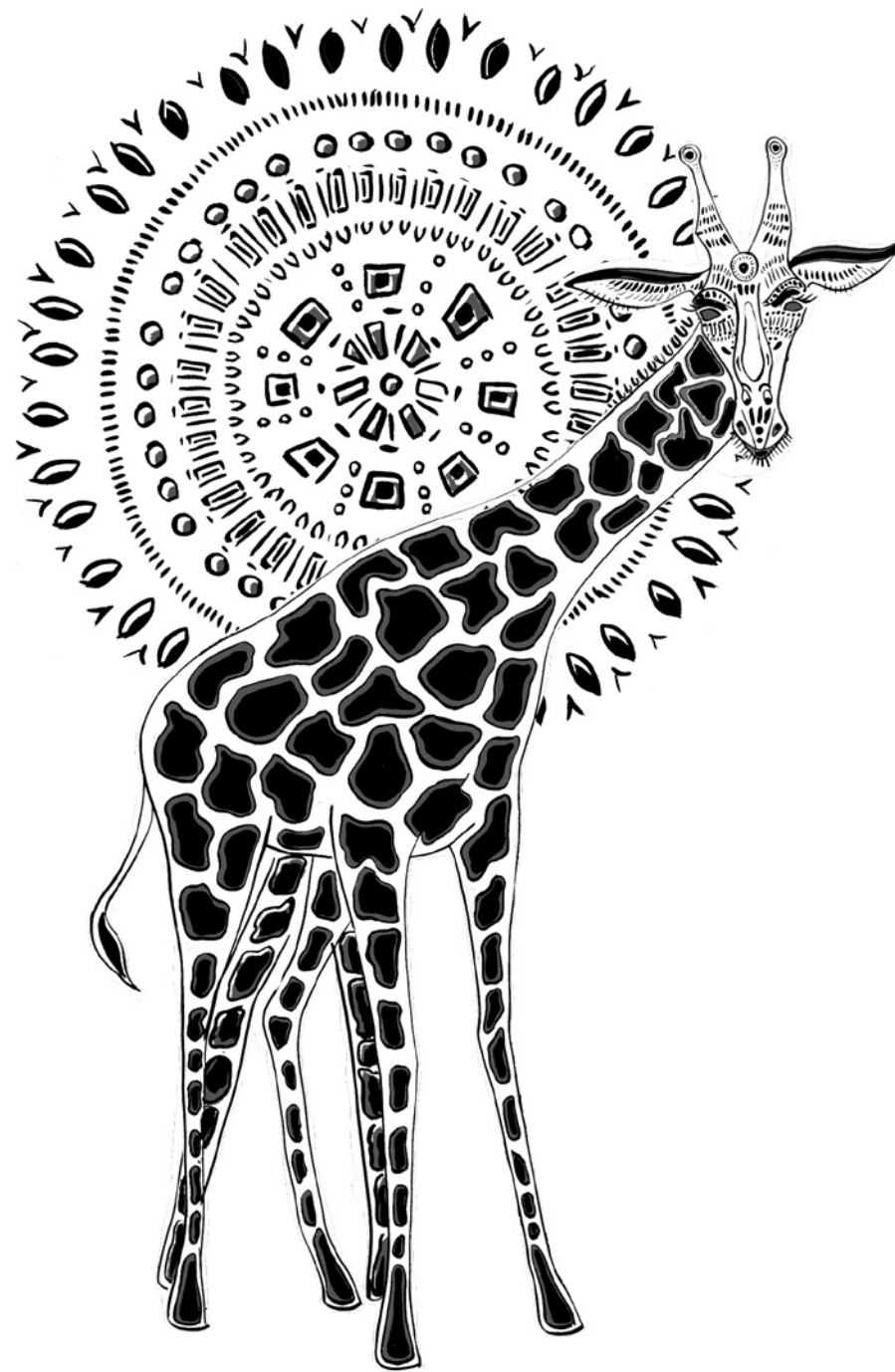
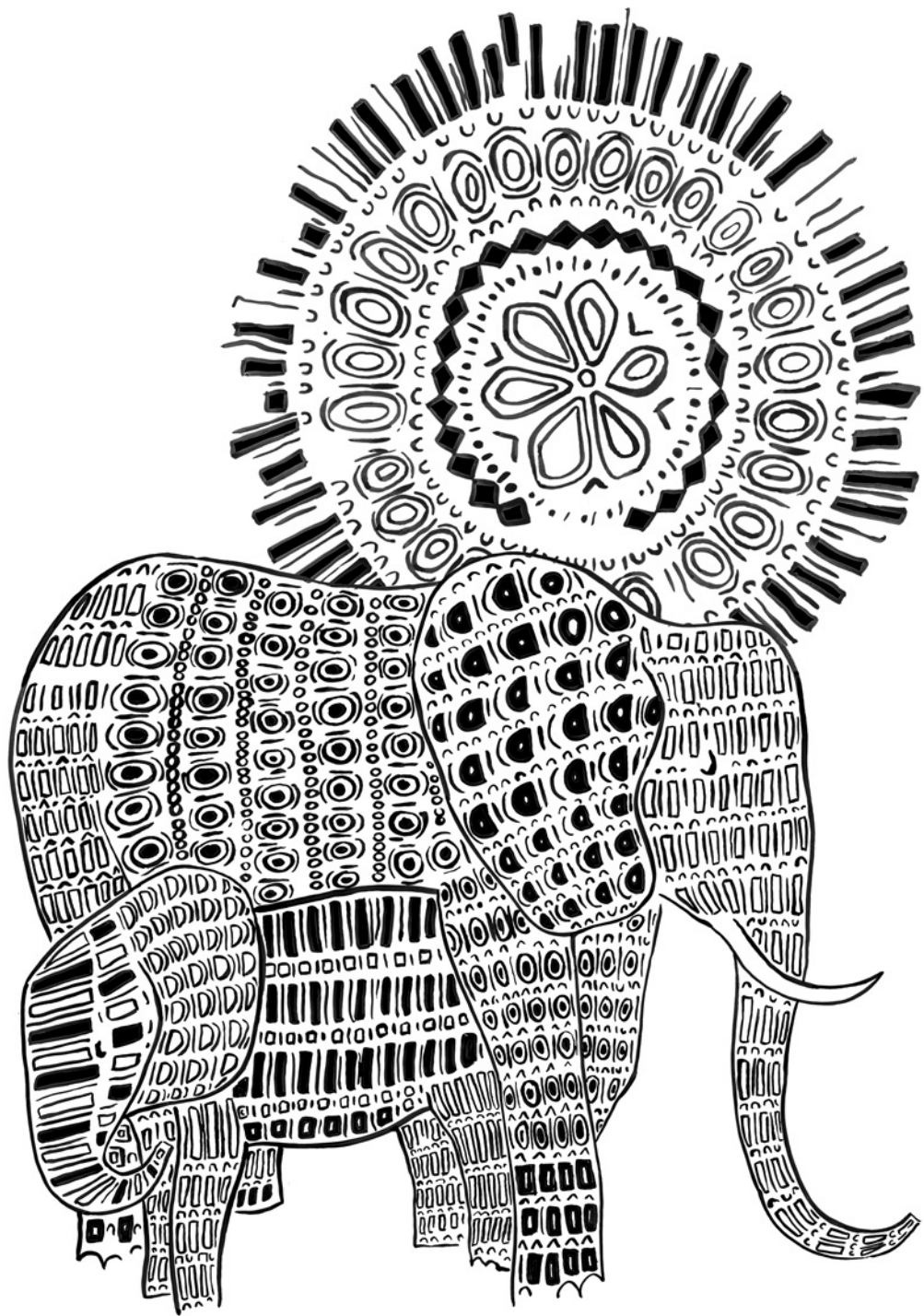
片時もノートと鉛筆を離さなかったムッシュ ディオールの「素敵でささやかな偶然が、アイデアを活性化させるのです」という言葉になぞらえて。



DIOR
COLORING BOOK













DIOR AND THE ART OF COLOR

「色彩は素晴らしいものです」と、ムッシュ ディオールは著書『*The Little Dictionary of Fashion*』で述べています。そして、著書を通じて、お気に入りの色とその意味を解説しています。芸術への愛と洞察力に優れた予見に導かれ、豊かさと繊細な色彩によって、素材、カット、デザインの本質を露わにする、色の計り知れない力を見出しました。「ジョーヌ シエル(空の黄色)」、「ニュアージュ パール(青白い雲)」、「ブルー オラージュ(青い嵐)」や「ヴェール クレプスキュール(緑色のたそがれ)」といった、優しく詩的な名前を付けた色を使い、オートクチュール コレクションを生み出したのです。それは、ムッシュ ディオールが季節の移ろいとともに新たに彩色した素晴らしい世界です。「生命の色」と呼んだエネルギッシュな赤、「最もエレガント」と評した黒の強さ、「最も甘美」なピンクの繊細さは、ディアールの魅力を最大限に高めるタイムレスなカラーパレットであり続けています。